

1. つぎのかつこの中に適当な数式を入れよ.

(1)

$xy$  平面上の集合  $D$  において, 各点  $(x, y)$  の密度が  $\rho(x, y)$  で与えられるとき  $D$  の質量  $M$  は次式で与えられる.

$$M = \iint_D \rho(x, y) \, dx \, dy \quad (\text{①})$$

$D$  の重心  $G(\bar{x}, \bar{y})$  の座標は次式で与えられる.

$$\bar{x} = \frac{1}{M} \iint_D x \rho(x, y) \, dx \, dy \quad (\text{②}), \quad \bar{y} = \frac{1}{M} \iint_D y \rho(x, y) \, dx \, dy \quad (\text{③})$$

(2)

$xyz$  空間の集合  $E$  において, 各点  $(x, y, z)$  の密度が  $\rho(x, y, z)$  で与えられるとき  $E$  の質量  $M$  は次式で与えられる.

$$M = \iiint_E \rho(x, y, z) \, dx \, dy \, dz \quad (\text{④})$$

$E$  の重心  $G(\bar{x}, \bar{y}, \bar{z})$  の座標は次式で与えられる.

$$\bar{x} = \frac{1}{M} \iiint_E x \rho(x, y, z) \, dx \, dy \, dz \quad (\text{⑤}), \quad \bar{y} = \frac{1}{M} \iiint_E y \rho(x, y, z) \, dx \, dy \, dz \quad (\text{⑥}), \quad \bar{z} = \frac{1}{M} \iiint_E z \rho(x, y, z) \, dx \, dy \, dz \quad (\text{⑦})$$

2. 密度が一様な場合, つぎの平面の部分  $D$  の重心  $G(\bar{x}, \bar{y})$  を求めよ.

(1)

$$D: x^2 \leq y \leq 5x^2, \quad 1 \leq x \leq 2$$

(2)

$$D: \frac{x^2}{4} + y^2 \leq 1, \quad x \geq 1, \quad y \geq 0$$

3. 密度が一様な場合, つぎの立体の部分  $E$  の重心  $G(\bar{x}, \bar{y}, \bar{z})$  を求めよ.

(1)

$$E: x^2 + y^2 + z^2 \leq 1, \quad x \geq 0, \quad y \geq 0, \quad z \geq 0$$

(2)

$$E: x^2 + y^2 \leq z \leq 2 - x - y$$

(ヒント:  $xy$  平面への正射影は  $x^2 + y^2 = 2 - x - y$  である.)

4.密度が中心からの距離に反比例するとき ( $\rho = \frac{k}{\sqrt{x^2 + y^2 + z^2}}, k > 0$ ), つぎの領域の重心

$G(\bar{x}, \bar{y}, \bar{z})$  を求めよ.

(1)

$$E: x^2 + y^2 + z^2 \leq 1, y \geq 0, z \geq 0$$

(2)

$$E: x^2 + y^2 + z^2 \leq 1, x \geq 0, y \geq 0, z \geq 0$$

5.つぎのかっこの中に適当な数式を入れよ.

(1)

$xy$  平面上の領域  $D$  において, 各点  $(x, y)$  の密度が  $\rho(x, y)$  とし空間にある定直線  $l$  までの距離を  $p(x, y)$  とする. このとき定直線  $l$  のまわりの慣性能率  $I_l$  は次式で与えられる.

$$I_l = \iint_D \quad ( \text{①} )$$

とくに, 座標軸のまわりの慣性能率は次式になる.

$$I_x = \iint_D \quad ( \text{②} ), \quad I_y = \iint_D \quad ( \text{③} ), \quad I_z = \iint_D \quad ( \text{④} )$$

(2)

$xyz$  空間の領域  $E$  において, 各点  $(x, y, z)$  の密度が  $\rho(x, y, z)$  とし定直線  $l$  までの距離を  $p(x, y, z)$  とする. このとき定直線  $l$  のまわりの慣性能率  $I_l$  は次式で与えられる.

$$I_l = \iiint_E \quad ( \text{⑤} )$$

とくに, 座標軸のまわりの慣性能率は次式になる.

$$I_x = \iiint_E \quad ( \text{⑥} ), \quad I_y = \iiint_E \quad ( \text{⑦} ), \quad I_z = \iiint_E \quad ( \text{⑧} )$$

(3)

物体  $E$  の定直線  $l$  のまわりの慣性能率を  $I_l$  とし,  $E$  の重心を通過して  $l$  に平行な直線  $l_0$  のまわりの  $E$  の慣性能率を  $I_0$  とする.  $l$  と  $l_0$  の間の距離を  $a$ ,  $E$  の質量を  $M$  とすれば  $I_l$  と  $I_0$  の間につぎの関係がある.

$$I_l = I_0 + \quad ( \text{⑨} )$$

6.密度が一様な場合 ( $\rho = k$ ), つぎの領域について慣性能率  $I_x, I_y, I_z$  を求めよ.

(1)  $D: 0 \leq y \leq x\sqrt{x}, 0 \leq x \leq a \quad (a > 0)$

(2)  $E: x^2 + y^2 + z^2 \leq a^2, y \geq 0, z \geq 0 \quad (a > 0)$